PCW-1258(11030)

施工説明書

INAX

アメージュ Z シャワートイレ

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

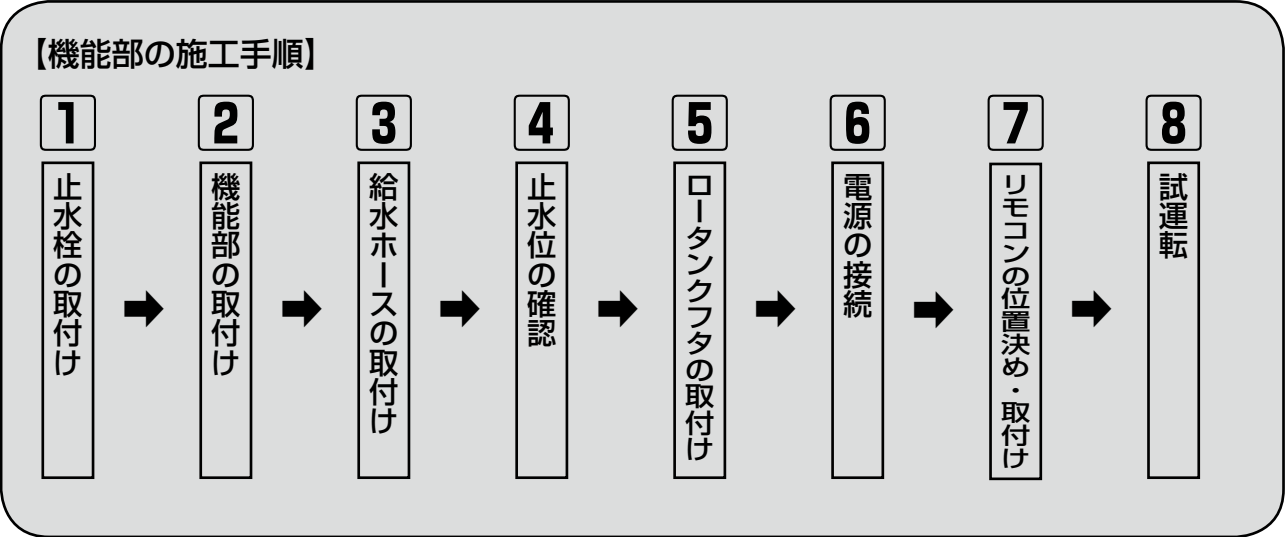
※品番は代表的なものを例示

DT-Z183 型　DT-Z182 型　DT-Z181 型
DT-Z153 型　DT-Z152 型　DT-Z151 型

施 工 手 順

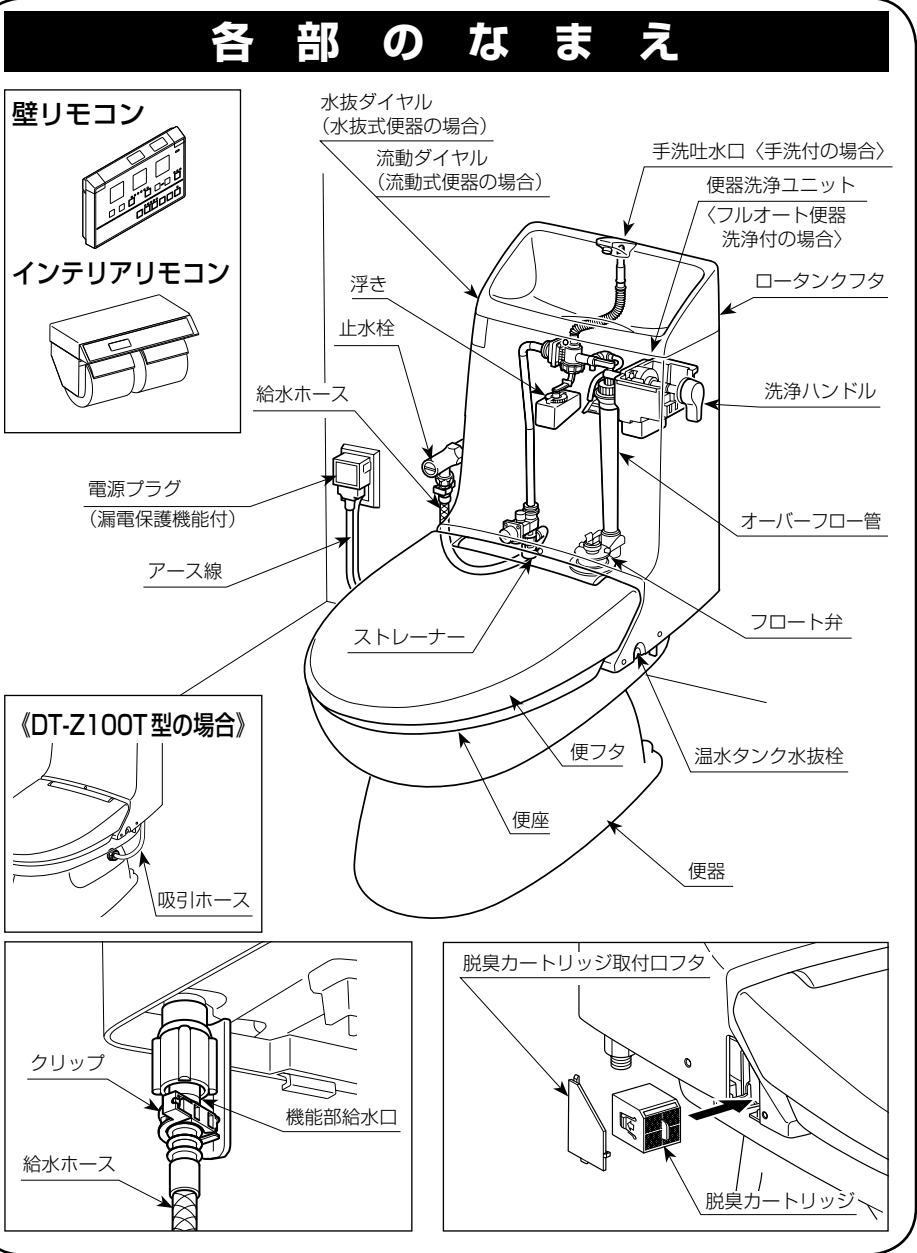
下記の施工手順に従い、正しく施工してください。本書は【機能部】の施工説明書です。
※便器の施工については、便器の施工説明書をご参照ください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017173　FAX 0570-017178
受付時間　平日 9:00～18:00　土・日・祝日 10:00～18:00(夏期・年末年始の休みは除く)
※ ナビダイヤルは、PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。右記番号をご利用ください。TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797

□内の数字は、施工手順の番号を示しています。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）

各 部 の な ま え

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . .	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
注意 . . .	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

- 施工説明書に従い、正しく施工してください。［指示実行］
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。［分解禁止］
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。［水かけ禁止］
  ※ 感電・火災の恐れがあります。
- 確実にアース線をアースターミナルに接続してください。［アース接続］
  ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
  ※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。［禁止］
  ※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
- ガタついているコンセントや、アースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。［禁止］
  ※ 感電・火災の原因になります。
- バスルームなど、湿気の多い場所には設置しないでください。［水場使用禁止］
  ※感電・火災の原因となります。
- 水道水以外に接続しないでください。［禁止］
  ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。［ぬれ手禁止］
  ※ 感電の原因になります。
- ●交流 100V 以外では使用しないでください。
  ●タコ足配線はしないでください。［禁止］
  ※ 火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。［指示実行］
  ※ 感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを完全に洗い流してください。［指示実行］
  ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。［指示実行］
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。［指示実行］
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。［指示実行］
  ※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

電 源 の 確 認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- ● コンセントは **AC100V、最大定格 410W（温風乾燥付）,350W（温風乾燥無）**に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  （ヒーター付便器の場合は、定格消費電力に 27W を加えます。）
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- ● **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- ● コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1.0m です。

※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

使 用 す る 水 は ？

● **給水は必ず水道水に接続してください。**
中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。

必 要 な 水 圧 は ？

● **給水圧力は 0.06MPa 以上必要です。また、最高水圧は 0.75MPa です。**
0.06MPa 以下では満足なシャワーが得られません。このような場合は、お求めの取扱店にご相談ください。

必 要 な ス ペ ー ス は ？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。
※ 1 製品に向かって右側・左側ともに 70mm 以上の空間を確保してください。
※ 2 タンク上部に棚などを設置する場合、お掃除リフトアップやタンク点検のため、床から 1150mm 以上の空間を確保してください。

機 能 部 を 設 置 す る 前 に

機能部は、便器を設置してから施工してください。

機 能 部 を 床 に 置 か な い で ！

機能部を床に置くことは、絶対にしないでください。
※ **取付ボルト・機能部給水口が折れる恐れがあります。**

施　工　方　法

便器の取付け

便器に同梱されている施工説明書に従って、便器を取り付けます。

止水栓の取付け　注意 1-1 参照

壁・床仕上げ完了後、給水管と止水栓を取り付けます。
※止水栓を給水管に取り付けるときは、ねじ部にシールテープなどのシール材を巻き付けてください。
※取替用止水栓を使用する場合は、止水栓に同梱されている説明書を参照して取り付けてください。
※同梱されている止水栓は、始めは開いていますので、取付後にスピンドルを回して閉めてください。

●壁給水の場合

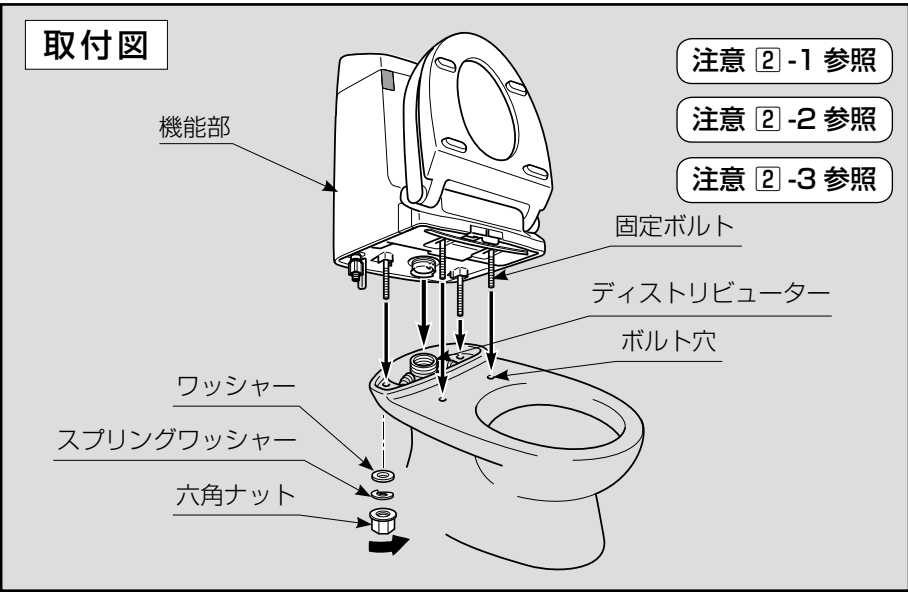
給水管　ワン座　止水栓　シール材

●床給水の場合

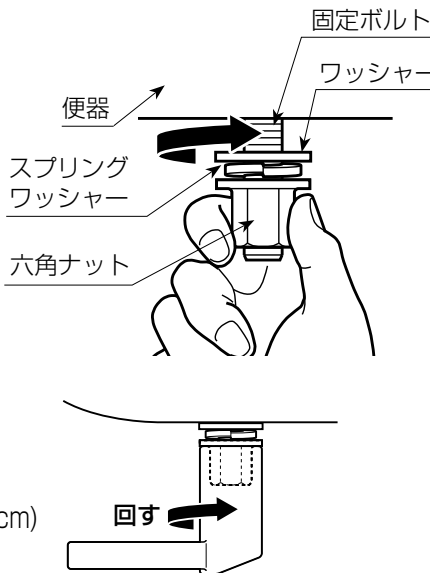
止水栓　ワン座　シール材　給水管

機能部の取付け

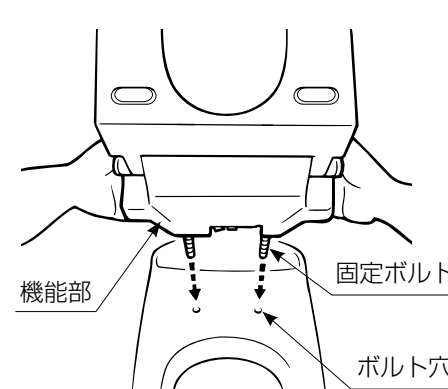
1. 機能部を便器に設置します。

機能部下面にある固定ボルト4本と便器のボルト穴4個を合わせて機能部を設置します。
※前側の固定ボルトを見ながらボルト穴に差し込むと容易に取り付きます。

2. 機能部を仮締めします。

(1) 機能部の固定ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーを通し、六角ナットを取り付けます。
(2) 六角ナットを手で仮締めます。

注意 2-2 参照

3. 機能部を固定します。

同梱の工具で確実に締め付けます。
(締付トルク 2.0～2.5N・m{20～25kgf・cm})

回す

4. 吸引ホースを取り付けます。(DT-Z100T 型の場合)

(1) 便器の吸引ソケットから保護テープを外します。
(2) 吸引ホースをソケットに差し込み、袋ナットを奥までしっかり締め付けます。

注意 2-4 参照

注意 1-1

● リトイレタイプの場合、給水位置が下図A部にあるときは、同梱の給水ホースが使用できます。
給水位置が下図B部(ロータンク背面)にあるときは、取替用止水栓(TF-3892ER)を別途手配して接続してください。

A部 (200mm)　B部 (400mm)　A部 (200mm)

取替用止水栓
(TF-3892ER)

注意 2-1

● ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじの内径部に確実にはめ込んでください。
※漏水の原因になります。

● ディストリビューターを確実にはめ込むため以下の点に注意して機能部を設置してください。
1. ディストリビューター差込部の中心とボルト穴芯が合っている。
2. ディストリビューター差込部が便器上面に対して垂直である。
上記の2点を満たしていない場合は、便器からディストリビューターをいったん取り外し、正しい位置と角度に取り付けなおしてください。

注意 2-2

● ナットの締付けは片利きのないように左右交互に、少しずつ行ってください。
※本体が左右に傾く可能性があり、漏水の原因になります。

注意 2-3

● 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。

注意 2-4

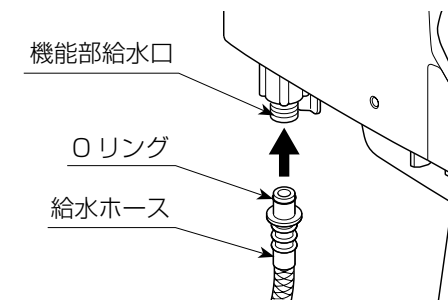
● 吸引ホースは手締めで奥までしっかり締め付けてください。
※洗浄不良の原因になります。

3 給水ホースの取付け

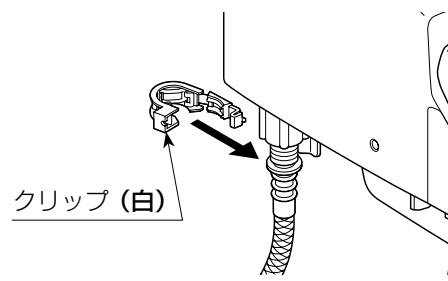
1. 給水ホースを機能部接続口に接続します。

(1) 給水ホースの端についているピンクのキャップを取り、給水ホースを機能部給水口に差し込みます。

注意 3-1 参照
注意 3-2 参照

機能部給水口　Oリング　給水ホース

(2) クリップを給水ホースと機能部給水口に差し込みます。
※クリップ(白)を使用してください。
※クリップに方向性はありません。

注意 3-3 参照

クリップ(白)

(3) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。
取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。

注意 3-4 参照

ストレーナー部　クリップ　しっかり取り付けます　カチッ　折り曲げます。

(4) ストレーナー部を増締めし、緩みがないことを確認します。

2. 給水ホースを止水栓に接続します。

(1) 給水ホースの端についている青色のキャップを外し、止水栓に差し込みます。

注意 3-1 参照
注意 3-2 参照

(2) クリップで確実に固定します。
※クリップ(グレー)を使用してください。

注意 3-3 参照

(3) 機能部給水口側と同様にして、クリップを取り付け、取付後にクリップを回し確実にはまっていることを確認してください。

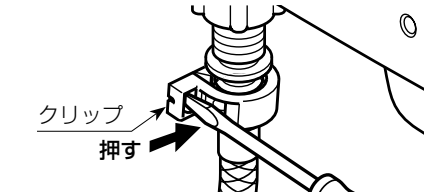
注意 3-4 参照

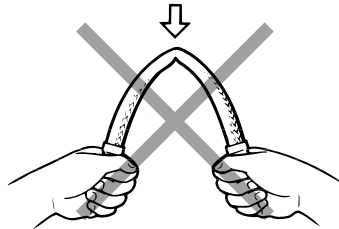
参考

● クリップを外す際には、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように押すようにして外してください。

クリップ　押す

参考

● リトイレタイプでホースが長すぎる場合、同梱のホースクリップをロータンク裏などに張り、見栄え良くホースを取り回してください。

注意 3-1

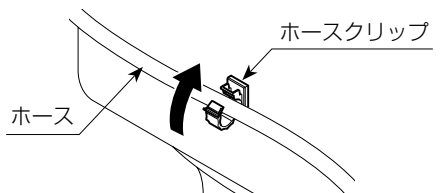
● 給水ホースは鋭角に曲げないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。

注意 3-2

● Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

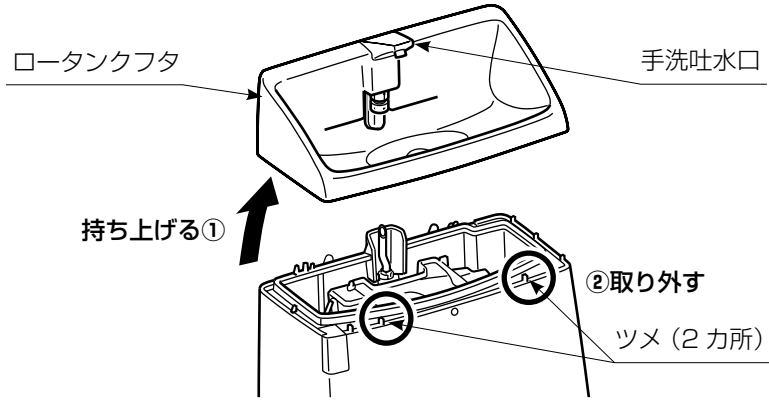
注意 3-3

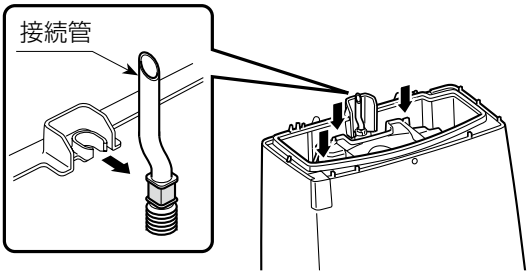
● クリップは確実にはめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。
● クリップは止水栓側と機能部給水口側で大きさが異なります。間違えずにはめてください。
※間違えてはめると漏水します。

注意 3-4

● クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

止水位の確認（水圧によって止水位が異なります。必ず確認してください。）

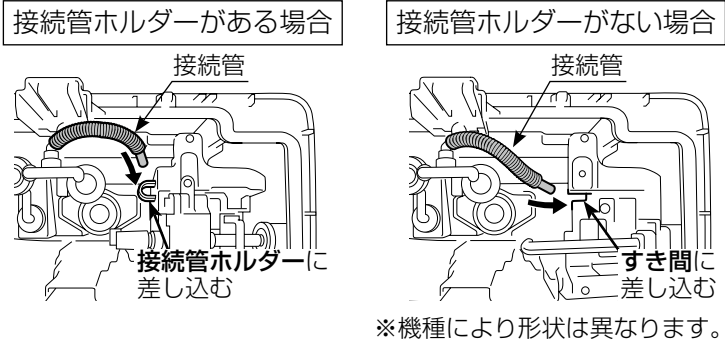
1. ロータンクフタを外します。

(1) ロータンクフタの後部を持ち上げます。
(2) 手前のツメ（2 カ所）を外し、ロータンクフタを取り外します。

2. 中フタを外します。

(1) 手洗付の場合は、ロータンクから接続管を外します。
(2) 中フタのツメ 3 カ所（下図参照）を外します。

(3) 中フタを手前に押し込みながら、後部を持ち上げます。

(4) 中フタの右側から引き出して外します。

(5) 手洗付の場合、接続管を下に向けます。

※機種により形状は異なります。

(6) 止水栓を全開にして、ロータンクに通水します。

注意 4 -1 参照　注意 4 -2 参照

3. 止水位を確認します。

(1) 給水が終わったらロータンク内の水位（水面）がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認します。

注意 4 -3 参照

水位がウォーターラインマークに合っていなければ、(2) の作業を行います。

(2) 浮きの上面にある調節ダイヤルを回し、水位をウォーターラインマークに合わせます。

注意 4 -1

● 止水栓を全開にする場合は、固着を防ぐため、必ずスピンドルを全開の位置から 1/4 回転戻しておいてください。

注意 4 -2

● 止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、キズをつける恐れがあります。以下の点に注意してください。
※マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。

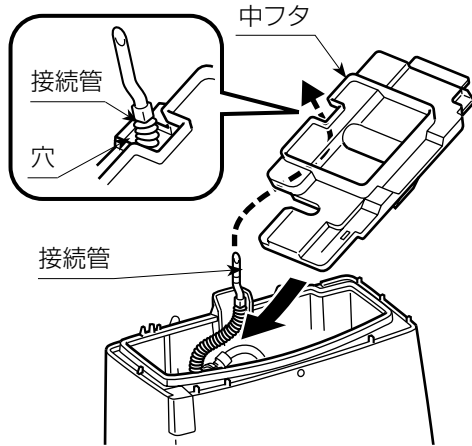
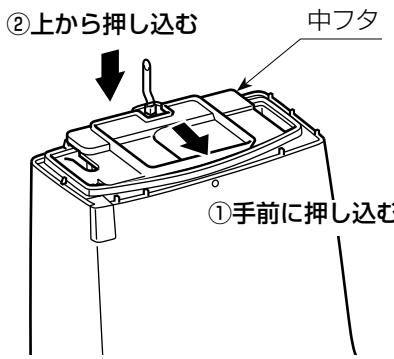
1. 止水栓を閉めておきたい場合は、次の要領で閉めてください。
   (1) 初めに軽く閉めます。
   (2) スピンドルが止まったところから、さらに約 1/4 回転（目安）ほど締めます。
2. 止水栓を全開にする場合は、固着を防ぐため必ずスピンドルを全開の位置から 1/4 回転戻しておいてください。

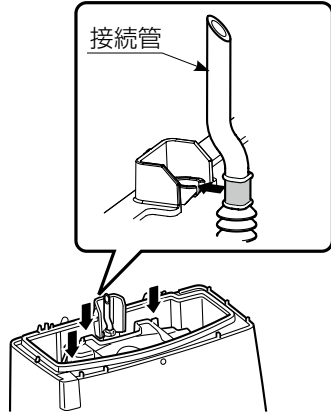
注意 4 -3

● 正しい位置に水位が調節されていない場合、オーバーフローによる止水不良や、水量不足による洗浄不良（紙づまり、汚物残り）の原因になります。

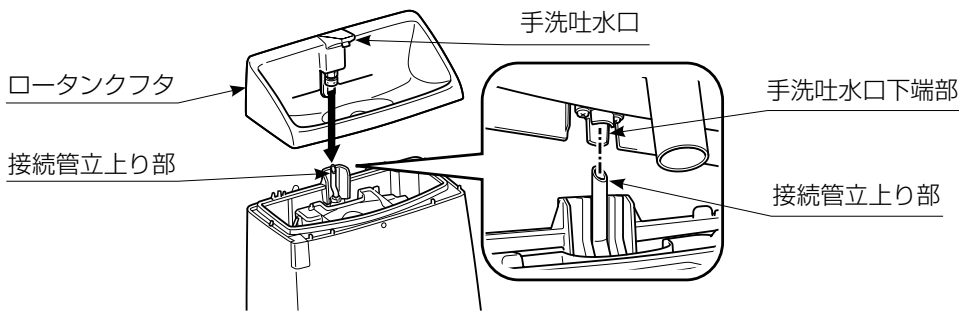
5 ロータンクフタの取付け

1. 中フタを取り付けます。

(1) **手洗付の場合**は、中フタ後部の穴に接続管を通し、タンク左手前から中フタを差し込みます。

(2) 中フタを手前に押し込みながら、後部を上から押し込みます。

(3) 中フタのツメ 3 カ所（図中矢印）を押さえます。
(4) **手洗付の場合**は、タンクに接続管を取り付けます。

注意 5 -1 参照

2. ロータンクフタを取り付けます。

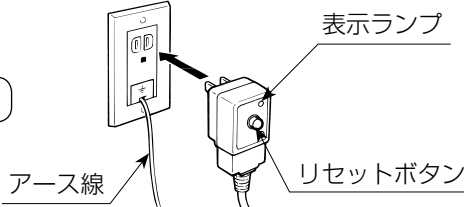
ロータンクフタをロータンクに取り付けます。
手洗付の場合は、手洗吐水口の下端部に接続管立上り部を確実に差し込んでください。

注意 5 -1 参照

電源の接続

1. アース線を接続します。

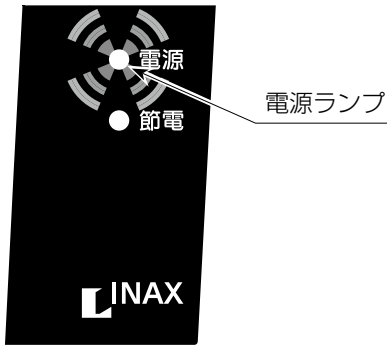
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグを差し直す時は、
１０秒程度時間をあけてください。

注意 6 -1 参照　注意 6 -2 参照

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

3. 電源が入っていることを確認します。

本体の電源ランプが点灯することを確認します。

7 リモコンの位置決め・取付け

リモコンに同梱されている施工説明書に従って、リモコンを取り付けます。

注意 5 -1

● 接続管は接続管ホルダーに確実に差し込んでください。
※差込が不十分だと漏水の原因になります。

● ロータンクフタが浮いていたり、グラつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※漏水の原因になります。

注意 6 -1

● 必ず本体の施工が終了してから電源を入れてください。
● 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認してください。
● 便座に触れたままコンセントに電源プラグを差し込まないでください。シャワー（おしり、ビデ）が出なくなることがあります。
シャワーが出ない場合は、便座に触れないで電源プラグを再度差し込んでください。

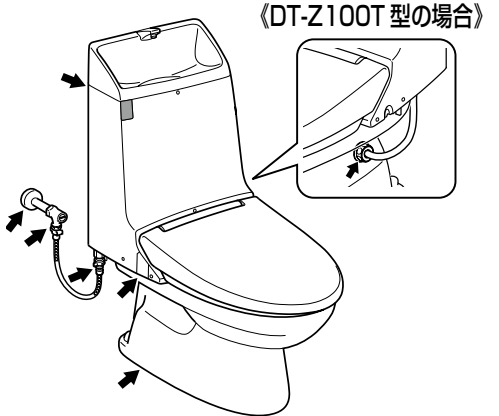
注意 6 -2

● リセットボタンを押しても、電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電されていないか確認をしてください。

8 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

水漏れ点検

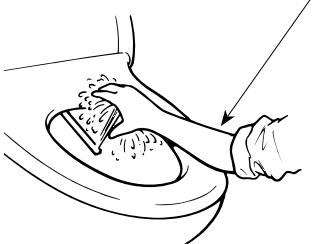
1. 漏水がないことを確認します。　注意 8 -1 参照

(1) 洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を数回行います。
(2) 各接続部に漏水がないことを確認します。
同時に、フロート弁の開閉、ボールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合などロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。

2. 便器洗浄を確認します。

(1) 便器鉢内に長さ約 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れます。
(2) 1 回の洗浄で排出できることを確認します。もし、1 回で排出できない場合は、フロート弁やその他の内部金具を点検します。
(3) 溜水面の点検をします。　注意 8 -2 参照

おしり・ビデ洗浄の確認

1. おしり洗浄を確認します。　注意 8 -3 参照

(1) 腕を便座にのせ、おしりスイッチを押します。
初めは、タンクが満水になって**シャワーが出るまで 1 ～ 2 分程度かかります。**（洗浄強さを最強にしておくと早く出てきます。）
おしり洗浄はスイッチを押してから 2 分後に自動停止します。ノズルが出てこない場合、再度スイッチを押してください。
(2) ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。
(3) 止スイッチを押すとおしり洗浄が停止します。

※ 着座センサーがあるため、便座に触れないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥〈乾燥付の場合〉は作動しません。

2. ビデ洗浄も同様に確認します。

(1) おしり洗浄と同じように便座に触れながらビデスイッチを押します。ノズル（ビデ用）が伸びておしり洗浄よりも 25mm 程度前にシャワーが噴出することを確認します。
(2) 止スイッチを押すとビデ洗浄が停止します。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

(1) 止水栓を閉めます。
注意 8 -4 参照

(2) ロータンク左下にある給水部を回し、給水ホースごと取り外します。
このとき、布などを下に置きます。
(3) 給水ホース内の水を完全に抜きます。

(4) 給水部からストレーナーを取り外し、ストレーナーに付いているゴミを水洗いして完全に取り除きます。
(5) ストレーナーを給水部に取り付け、元の場所に締め付けます。
このとき、O リングにゴミが付着していると漏水の原因になります。
(6) 止水栓を開けます。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

(1) 止水栓を閉めて、ロータンクおよびシャワートイレへの給水を止めます。
注意 8 -4 参照
(2) ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。
(3) 洗面器などを下に置き、ロータンク右側の温水タンク水抜栓を外して温水タンク内の水を抜きます。
※ 最初、タンク内の水は横に飛び散るので、壁をぬらさないでください。
(4) ロータンク左下にある給水部を回し、給水ホースごと取り外します。
(5) 給水ホース内の水を完全に抜きます。
(6) 給水部からストレーナーを取り外し、網部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除きます。
(7) ストレーナーを給水部に取り付け、元の場所に締め付けます。
(8) 温水タンク水抜栓をしっかり締め付けます。
(9) 電源プラグをコンセントから抜きます。

注意 8 -1

● 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

注意 8 -2

● 溜水面が低下する場合は、便器の性能が十分に得られない可能性があります。下記の調整作業を行ってください。

(1) ロータンクフタ・中フタを開けます。
(2) 溜水面が低下しなくなるまで、補給水切替弁を左に回して調整します。

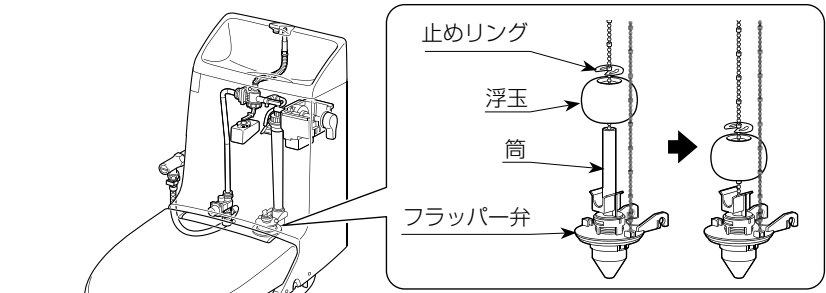
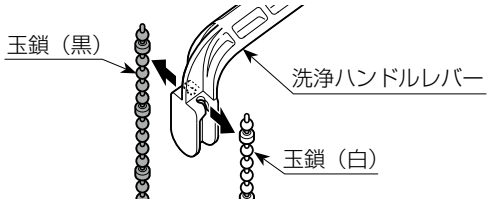
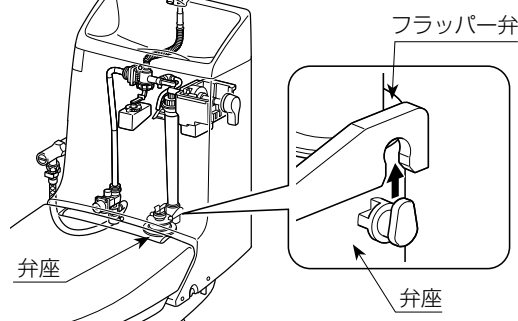
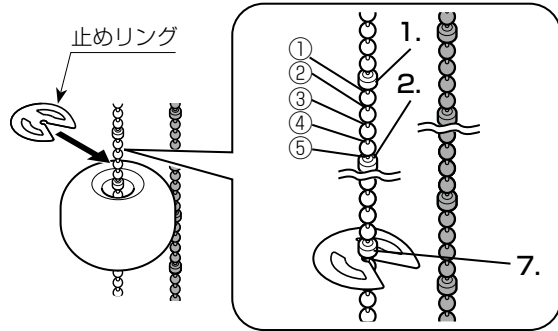
※調整の際は、接続管を下に向けてください。

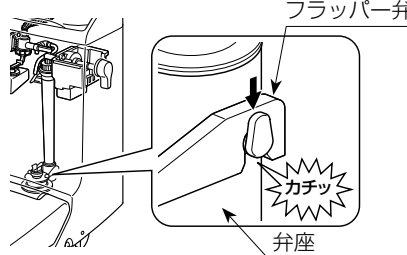
注意 8 -3

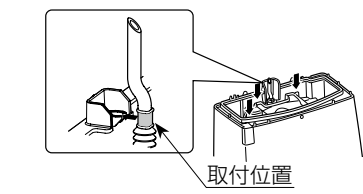
● インバーター照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあります。
照明を消して動作を確認してください。

注意 8 -4

● 止水栓を開けたまま給水部を外さないでください。
※ 給水部から漏水します。
● 止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズをつける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。

自治体により洗浄水量が規定されている一部地域では、下記手順で大洗浄 8L（小洗浄 6L）仕様としてお使いいただけます。

(1) 止水栓を閉めます。
注意 9 -1 参照
(2) 洗浄ハンドルを操作してロータンク内の水を抜きます。
(3) ロータンクフタ・中フタを外します。
(4) 洗浄ハンドルから玉鎖を外します。

(5) 弁座からフラッパー弁を外します。

(6) フラッパー弁から筒を外し、浮玉の位置を図の位置に合わせます。

上から 7 番目の⑦の下に止めリングを付ける（図の 7.- ①）

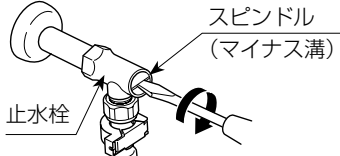
(7) フラッパー弁を弁座に取り付け、スムーズに動くことを確認します。
(8) 洗浄ハンドルに玉鎖を取り付けます。
注意 9 -2 参照
注意 9 -3 参照

(9) 中フタ・ロータンクフタを取り付けます。

【注意】
手洗付の場合、接続管立上がり部を中フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとはめ込んでください。
※ 取付位置を間違えたり、取付けが不十分だと漏水の原因になります。

(10) 止水栓を全開にします。　注意 9 -1 参照
(11) 「8 試運転」を行います。
※　ECO4 タイプの場合も、大洗浄 8L（小洗浄 6L）仕様への変更が可能です。INAX メンテナンスへご相談ください。

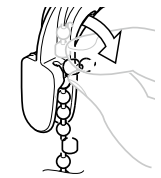
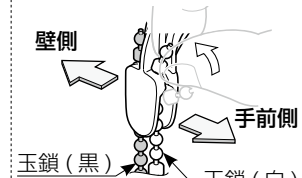
施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

注意 9 -1

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷をつける恐れがあります。以下の点に注意してください。
※ マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。
1. 止水栓を閉めておきたい場合は、次の要領で閉めてください。
(1) はじめに軽く閉めます。
(2) スピンドルが止まったところから、さらに約 1/4 回転（目安）ほど締めます。

2. 止水栓を全開にする場合は、固着を防ぐため必ずスピンドルを全開の位置から半回転戻しておいてください。

注意 9 -2

● 玉鎖は手前側が白、壁側が黒になるように取り付けてください。
※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。

● その後ハンドルを操作し、正常に動作することを確認してください。
※ 止水不良の原因になります。

注意 9 -3

● 鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※洗浄不良や止水不良の原因になります。

適切　クロスしている　たるみすぎ　張りすぎ

チェック表

	チェック欄
■漏水確認	
本体と便器との接続部	□
本体と給水ホースとの接続部	□
止水栓部および給水ホースとの接続部	□
タンク背面（手洗吐水口と接続管との接続部）	□
便器と床との接続部	□
止水栓と壁・床との接続部	□
吸引ホースと便器との接続部（DT-Z100T 型のみ）	□
■リモコン作動確認	□
■止水栓を開いたか？	□